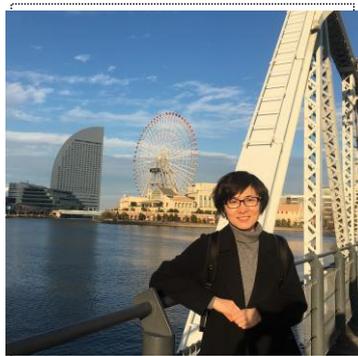


首都大学東京帰国留学生短期研究支援制度 平成30年度 研究報告書

<外国人研究者プロフィール/Profile>

外国人研究者	王 雷
Foreign Researcher	WANG, Lei
国籍	中国
Nationality	China
所属機関	北方工業大学
Affiliation	North China University of Technology
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究期間	2019/01/04～2019/02/24
Period of Stay	2019/01/04～2019/02/24
専攻分野	都市計画
Major Field	urban plan



外国人研究者/Foreign Researcher

受入研究者	玉川 英則	職名	教授
Research Advisor	TAMAGAWA, Hidenori	Position	Professor
受入研究科	都市環境科学研究科		
Graduate School/Department	Urban Environmental Sciences		

<外国人研究者からの報告/Foreign Researcher Report>

①研究課題 / Theme of Research
<p>大都市圏郊外化過程における公共サービス格差化に関する研究 —東京と北京の比較—</p>
②研究概要 / Outline of Research
<p>中国には、近年、日本70年代と同様に高度経済成長期以降の大都市圏への人口集中とそれに続く郊外化を受けている。それに伴う、公共サービス格差化現象といった問題が注目されている。公共サービスの格差の実態を明らかにするために、自治体の規模と財政、医療福祉、教育、生活環境、安全の5カテゴリーに関する15公共サービス項目を選んで、東京多摩・八王子地域と北京184市町村の格差を把握することを目的としている。これらに関し、受け入れた研究者玉川先生から研究助言と論文投稿準備に関するサポートを行った。また、今回入手した東京大都市圏の新しいデータを利用し、東京と北京の比較分析を通して、中国の公共サービスの格差地域の特徴を明らかにする。</p>
③研究成果 / Results of Research
<p>極めて短い研究滞在であったが、多くの成果を挙げる事ができた。まず、文献調査を通じて、大都市圏の郊外化過程における日本の自立生活圏と公共サービスの研究について整理し、中国の大都市圏の問題へのヒントを得ることができた。次に、受け入れた研究者玉川先生との議論を通じて、東京と北京の一極集中と多極分散の問題を議論した。大都市圏郊外部公共サービス格差の問題を日本の経験を比較しつつ、今後の研究基礎データとして整理した。また、「中国の都市と都市科学—その最新トピックス」と題する発表を行い、特に北京の非首都機能の分散について教員と院生たちと交流を行った。今回の短期研究をして、深い交流と共同研究を更に一歩進めた。</p>
④今後の計画 / Further Research Plan
<p>今回の短期研究期間において、大都市圏郊外部生活圏公共サービスモデルの構築と研究のアウトラインを把握することができたので、今後はメールなどで議論を重ねつつ、詳しく検討を行っていく予定である。この短期研究と交流をもとに、受け入れた研究者玉川先生との共著論文を作成し、今後より一層共同研究や交流を進めていきたいと思う。また、2020年中国・青島にて開かれる第13回アジア建築交流国際シンポジウムにて大都市圏の郊外化過程の問題と収縮都市に関する研究発表を行う予定である。</p>
⑤東京と海外諸都市との相互理解・友好親善関係の推進についての計画 / Further Plan of Contribution of Strength of Mutual Understanding/Friendship Between Tokyo and International cities
<p>私は2012年に首都大学東京で博士（都市科学）を取得し、帰国後は中国北方工業大学の大学教員として勤務している。日本留学の経験をいかして母国社会で活躍し、母国との友好信頼関係の発展・強化のための架け橋となろうと努力している。これらの共同研究と交流をもと、学生と教員を含む人の交流、国際セミナーの共催・参加などを含む研究交流への展開を努力していく。</p>

<受入研究者からの報告/Research Advisor Report>

①研究概要 / Outline of Research

当該研究者・王雷氏の現在の専門である都市計画分野について、日本と中国の比較分析に関する指導を行った。

具体的には、大都市圏への人口集中とそれに続く郊外化現象に伴う、公共サービス格差化現象について、東京多摩・八王子地域の規模と財政、医療福祉、教育、生活環境、安全の5カテゴリーに関する15公共サービス項目について、データ収集と実態把握を行うための種々の指導を行った。今後は、北京都市圏の市町村との格差を把握し、今回入手した東京大都市圏のデータとの比較分析を通して、それぞれの公共サービスの格差地域の特徴を明らかにしていく。

②研究成果 / Results of Research

当該研究者は上記の情報収集を着実にいった。

まず、文献調査とデータ収集を通じて、大都市圏の郊外化過程における日本の自立生活圏と公共サービスの研究について整理し、中国の大都市圏の問題へのヒントを得ることができた。また、当方との議論を通じて、東京と北京の一極集中と多極分散の問題について考察を深めた。以上の結果、大都市圏郊外部公共サービス格差に関して日本と中国の経験を比較しつつ今後の研究基礎情報として整理することができた。

さらに、「中国の都市と都市科学—その最新トピックス」と題する発表を行い、特に、北京の非首都機能の分散について教員や院生たちとディスカッションを行うことができた。

③今後の計画 / Further Research Plan

今後は、当該研究者と受け入れ教員の間でメールなどで議論を重ねつつ、詳しく検討を行っていく予定である。同テーマに関する共著論文の作成を目指し、今後より一層共同研究や交流を進めていきたい。また、2020年中国・青島にて開かれる第13回アジア建築交流国際シンポジウムにて、大都市圏の郊外化過程の問題と収縮都市に関する研究発表を行う予定である。



横浜でのフィールドワーク/Fieldwork in Yokohama



セミナーにて講演する様子/Lecture in seminar